



なのみ通信

令和5年度 筑前町立東小田小学校 学校通信1月15日 第11号

自ら楽しみを創る子どもの育成

三学期頑張りたいことの一つとして、友だちとの活動を楽しむ「なのみっ子」について、始業式に話をしました。「委員会活動や係活動」等、みんなのため、だれかのために行動できる人をめざしてほしいと思います。



新年あけまして おめでとうございます

◇今年もよろしく申し上げます◇

新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様には、今年も引き続きご支援ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

さて、1月7日(日)に、おやじの会の皆様による「どんと焼き」が開催されました。これまで多くの地域で行われてきた行事ですが、最近はあまり見る機会がなくなりました。無病息災を願い、また、子どもたちの楽しみの時間として、餅まきや昔遊びの場を提供していただきました。さらに今年は、新企画として「逃走中(鬼ごっこ)」を行っていただきました。大人の方や協力してくれた中学生がハンターとなり、運動場全体に散らばった100名近い子どもたちを追いかけました。顔を真っ赤にし、必死に逃げ回る子どもたちはとても楽しそうで、大満足のイベントとなりました。前日の準備から当日の片付けまでご協力いただきました皆様に対し、重ねてお礼を申し上げます。一年間、事故なく、安全で安心した学校生活、楽しい学校生活が送れるよう努めていきたいと思ひます。



三学期がスタートしました。～能登半島地震、そして、まよめの学期として～

17日間の冬休みを終え、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきました。しかし、1月1日におきた北陸地方の大地震は、報道を見るたびに、とてもつらい気持ちになります。そのような中でも、被災地では、多くの人たちが力を合わせ、困難を乗り越えようとされています。始業式の挨拶の冒頭で次のような話をしました。

2024年、令和6年を迎えました。新しい年のはじめに、みなさんで新年のご挨拶をしましょう。明けましておめでとうございます。冬やすみは元気に過ごすことができましたか?あっという間の17日間でしたね。今日は、みなさんの元気な様子を見ることができ、私も先生方もとてもうれしい気持ちでいっぱいです。

でも、新しい年になり、つらい出来事がありました。

1月1日、北陸地方で起きた地震。この大地震によって多くの人の命がうばわれ、そして、たくさんの方が被災されました。ニュースを見るたびに、とてもつらい気持ちになります。しかし、そのような中でも、被災地では、多くの人たちが力を合わせ、困難を乗り越えようとされています。また、被災地で救助活動や支援をされている姿もたくさん目にする事ができます。「だれかのために自分ができることをしよう」「みんなで協力し、助け合おう」といった姿に心打たれると共に、みなさんがこれまでめざしてきたことでもあります。これからの救助活動で、少しでも多くの命が救われ、被災地が日常を取り戻していくことを心から願っています。～始業式挨拶から～

一日も早い復興を願うと共に、防災だけではなく、救助や支援をされている方、被災された方の姿から、「だれかのために」「協力し助け合うこと」を学び、学校生活でも大切にしていきたいと思ひます。

また、始業式の挨拶では、まよめの学期として、三学期頑張してほしいことを伝えました。「まなび・こころ・からだ」についてはもちろん、それぞれの教室に掲げている「学級目標」に向かって、みんなで頑張してほしいと伝えました。今年の学年及び学級での生活は残りわずかです。学級・学年が一つとなり、「まよめの学期」「次の学年への準備の学期」として、三学期も頑張してほしいと願っています。



6年生の学級目標